程」と、「児童数」とあるのは「生徒数」と読み替えるものとする。

1　密度補正Ⅱに用いる密度は、次の算式ア、算式イ及び算式ウにより算定した数（それぞれ小数点以下三位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）とする。

算式ア

（B × 711 ＋ C × 290 ＋ D × 336 ＋ E × 40 ＋ F × 82 ＋ G × 154 ＋ H × 166 ＋ I × 67 ＋ J × 113 ＋ K × 130 ＋ L × 8 ＋ M × 85 ＋ N × 101 ＋ O × 132）／ A

［略］

算式ウ

B × 8.8 ／ A

［略］

2　密度補正Ⅲに用いる密度は、次の算式により算定した数とする（小数点以下三位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）。

算式

B × C × 34.783 ／ A

算式の符号

［略］

C　次の算式によつて算定した率（小数点以下３位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、c＝0のときは、1.000とする。）

算式

（a ／ 0.734 － b）／ c × 12 ／ 623.827

a ／ 0.734 に小数点以下の端数があるときは、その端数を四捨五入し、（a ／ 0.734 － b）／ c × 12 に小数点以下３位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。

［略］

3　市町村立の認定こども園に在籍する１号認定子どもの数（追加分）は、「子ども・子育て支援新制度にお

六　その他の教育費

と、「児童数」とあるのは「生徒数」と読み替えるものとする。

1　密度補正Ⅱに用いる密度は、次の算式ア、算式イ及び算式ウにより算定した数（それぞれ小数点以下三位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）とする。

算式ア

（B × 728 ＋ C × 307 ＋ D × 351 ＋ E × 41 ＋ F × 84 ＋ G × 157 ＋ H × 171 ＋ I × 68 ＋ J × 115 ＋ K × 133 ＋ L × 8 ＋ M × 91 ＋ N × 106 ＋ O × 134）／ A

［同左］

算式ウ

B × 12.7 ／ A

［同左］

2　密度補正Ⅲに用いる密度は、次の算式により算定した数とする（小数点以下三位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）。

算式

B × C × 28.870 ／ A

算式の符号

［同左］

C　次の算式によつて算定した率（小数点以下３位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、c＝0のときは、1.000とする。）

算式

（a ／ 0.734 － b）／ c × 12 ／ 565.761

a ／ 0.734 に小数点以下の端数があるときは、その端数を四捨五入し、（a ／ 0.734 － b）／ c × 12 に小数点以下３位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。

［同左］

3　市町村立の認定こども園に在籍する１号認定子どもの数（追加分）は、「子ども・子育て支援新制度にお

六　その他の教育費